

通信小海

知恵と背丈と愛と

牧師 水草修治

この地に主イエス・キリストの福音を伝えるために越してきて、はや九年。当時、小学校入学の長男は高校入学の春となり、赤ん坊だった娘は小学三年生、まだ影も形もなかった次男は、この春小学校に入学した。

小学校の入学式で新人生保護者代表ということでごあいさつをさせていただいた。人前で話すことも務めのひとつなので、気楽に引きつけてしまったのだが、直前になって、なにを話したら良いのか迷いに迷って、ひどくあわててしてしまった。ここに抜粋してみ

「今月のみことば」
「イエスはますます知恵が進み、背も大きくなり、神と人にと愛された。」(ルカ二章五十二節)

たい。

「今朝、出がけに庭先で白と黄色のクロッカスが太陽にむかって、パツと花開いているのを目にしました。冷たい黒い土の中に半年間、じつと待ち望んで、とうとう迎えた春。小さいけれども元氣いっぱい背を伸ばして整列したその姿が、新一年生たちの姿と重ね合わさってまぶしく感じました。」

わが家では二月のはじめにかばん屋さんでランドセルを買ってきました。息子は大喜びでランドセルをしょって、ピカピカの運動靴をはいて家の中をくるくると走り回りました。うちは教会なので、教会に来ているおとなの人たちも口々に『誠君、おめでとう』『おめでとう』と声をかけてくださったので、本人はいよいよおめでたく、うれしくなっていました。そして、今朝は、ほんの少し前まで赤ちゃ

日本同盟基督教団 小海キリスト教会 牧師 水草修治

会堂・牧師館 長野県南佐久郡小海町大字小海四三三五 二七

〒三八四一一 二二 二六七九二四七七六

郵便振替 五三 六一六八三

見晴台の教会へどうぞ

(小海駅東の丘の上)

地図

集会あんない

日曜日 サンデースクール 午前八時半

朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後七時半から八時半

水曜日 祈り会 午後一時半と午後七時半

*八千穂・海尻・川上でも家庭集会あり。

*個人的な聖書勉強や個人的なご相談にも乗ります。

んだったあの子が、今、ランドセルを背負って自分の足で小学校に向かう後る姿に胸が熱くなりました。こうした感激は、新入生の保護者のみなさんもきつと同じであるうと思います。・・・」

次男はハンディをもって生まれてきたので、親としては健康に育つだろうか、知的には大丈夫かと心配し、なにより神様に愛される人に愛される人として育って欲しいと祈らないではいられなかった。

聖書には、二千年前、地上に降られた神の御子イエスキリストとしての成長について次のように記録されている。

「イエスはますます知恵が進み、背も大きくなり、神と人々に愛された。」(ルカ二章五十二節)

ここには子どもの成長が知的側面、肉体的側面、愛の人格関係という三つの側面から述べられている。勉強も大事、運動も大事だが、それだけで人間らしくは育つわけではない。自分を造ってくださり愛してくださるお方として神を知り、家族・教師や友の愛のなかで、子どもは健やかに成長するのである。

福音指圧教室

日時四月十三日(日)午後二時

場所教会堂 電話九二・四七七六

「春になればスガコも溶けてどじよっこのふなっこだの夜が明けたと思うべな」

青葉若葉の季節がやってきて、いよいよ畑がはじまります。なまっていたからだで、急に重たい肥料袋など持って、ギックリ腰などにならないように気をつけてください。養生のコツをおおぼえるために、あなたもどうぞお気軽におこしください。

持ち物バスタオル、タオル、くつした

スポンできてください。

無料

米支援感謝

みなさまのご協力で、この冬、山谷で暮らす働きたいけれども職にめぐまれない多くの人々のいのちがつながれました。感謝します。一月は八回で二二三三食、寒風と雪の二月は四回で九二食提供することができました。

連絡先

お米と調味料(しょうゆ・塩・だしのもと)、毛布を必要としています。大根・ニンジンなども助かります。

小海町役場 九二・二五二五

南牧村社会福祉協議会 九六・二二六三

山谷農場:116・0033 荒川区南千住4丁目4-1
ヤマト運輸(株)台東支店止め

藤田 寛: 電話090・1436・6334

カンパ: 千振替 二四・四・五三七九六

山谷農場

△幸福な家庭▽

ちがいを認め合う

先日友人夫婦が訪ねて来たとき、奥さんと妻は「プリンス・エドワード島に行きたいわねえ」と意気投合していた。プリンス・エドワード島というのは、カナダ東部に浮かぶ島で『赤毛のアン』の作者モントゴメリーが育ったところであり、この作品の舞台なのだそう。少年時代、私の家の本棚にも姉の『赤毛のアン』はあったが、私自身は題名をただで手に取ることもしなかった。妻が夢中になり、私がぜんぜん興味の湧かなかつた同類の名作は『若草物語』『足長おじさん』といったものである。

私が子どもの頃、夢中になったのは『ロビンソン・クルソー』『岩窟王』とかジュールベルヌ『十五少年漂流記』『地底探検』

『海底二万里』とかであった。こういう関心の違いは、大ざっぱに言ってしまうと男女の違いなのであろう。少女向けのマンガは昔も今もほとんどが恋愛や人間関係をテーマとしている。少年マンガといえば、野球やボクシングや空手や喧嘩や戦争や冒険などがいつも主流である。こうした傾向はおとなになっても、さして変わらない。

だから、一般的に男は人間関係については苦手であることを、奥さんたちは知っていることが賢明である。夫との共通の話題をさがし、それを発展させるにはなかなか骨が折れるわけだ。新婚の奥さんは、夫が心にあることをすべて自分に話してくれ、耳元で「愛してるよ」などとドラマの主人公みたいにささやいてくれることを期待するが、現実にはたいていの夫はそういうコミュニケーションはたいへん苦手である。思っても言えないのである。

とはいえ、夫としては妻がどれくらい自分とのコミュニケーションを必要としているのかということに想像力を働かせ、清水の舞台から飛び降りるつもりで「愛してるよ」という勇気が欲しい。私なんか、そういうの

はけっして得意ではない。たとえば「きょうの君はステキだね」なんて、なかなか口にできない。今朝、長男の入学式に出かけるというので、妻がドレスアップしていた。口で言えないので、パチパチ拍手をしたら、「なに？」とげんな顔をされてしまった。

男女のちがいだけではない。親がちがえば、ちがった価値観をもって育てられたであろう。生活習慣のちがいが、食べ物がちがいで気にしだすときりがない。自分が当たり前と知っていることが、相手にとっては当たり前ではないことを知り、自分の習慣や価値観が決して絶対正しいわけではないことを認める心の柔軟さが必要である。

真珠貝は貝殻に入ってきた自分にとって不快な異物を真珠層で包み込んで美しい真珠を作る。私たちもイライラの原因となる、夫のあるいは妻の違いを柔軟な心で受け入れて包みこむならば、美しい真珠を作り出すことができるであろう。

「夫たちよ。妻が女性であって自分より弱い器であることをわきまえ・・・」第一ペテロ三章七節

イースターだよ 子ども会だよ！

とき 4月19日(土)

1:30 - 3:00PM

ところ 小海見晴台教会堂

なにをするの？

ゲーム、工作、歌、おやつ、お話

*無料です

今年もたのしいイースターがやってきます。イースターというのは、クリスマスとならぶイエスさまのおいわいのとき。クリスマスはイエスさまのお誕生のおいわいですが、イースターはイエス様の復活(ふっかつ)のおいわいのときなのです。

子ども会では、歌をうたったり、ゲームをしたり、おはなしを聞いたりしますが、今年は、とくにゆかいで、すてきなたまごのからを使った工作をします。あなたもぜひ来てくださいね。